

## 希学園 第398回 小3公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

| 動画タイトル                             | URL                                                                                           |
|------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第398回公開テスト 小3国語 解説動画(2025年7月13日実施) | <a href="https://vimeo.com/1100452964/2b5e7f8049">https://vimeo.com/1100452964/2b5e7f8049</a> |

1

①

大声

②

夏休み

③

細工

④

凶星

⑤

電池

2

1

5

2

A

イ

B

ア

C

エ

3

ウ

4

こ

う

じ

菌

5

酢

6

I

2

II

2

III

1

3

1

と

べ

2

ち

3

ほ

っ

き

よ

く

6

イ

7

イ

8

2

4

さ

か

な

5

トビオ

配点

1

各2点×5＝10点

2～3

各5点×18＝90点

<計>100点

① 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①「声」の「士」の部分ぶぶんを「土」としてしまわないようにしよう。②「夏」の下したの部分を「又」と書かないようにしよう。覚えるときに細かいところに注意しながら練習すること。③「細工をする」とは「手先を使って細かなものを作る」という意味である。「エ」を「く」と読むことばには「大工・工夫・石工・工面」などがある。④「図星をつかれる」とは「かくしていたことなどを相手にびったり言い当てられる」という意味である。⑤「池」を「地」とまちがえないように気をつけよう。漢字は形や音だけで覚えるのではなく、部首などにも注目して意味も合わせて覚えるようにしよう。

② 赤野裕文 『すっぱいのひみつ お酢と発酵を科学する』 ※問題作成の都合上、一部表記を変更しています。

1 線①に「このように」というまとめをあらわす目印があるので、前の一文を見ると「これらのお酢は…」とあり、さらに指示語をたどると「穀物酢、米酢、黒酢、リンゴ酢、ワインビネガー」の5種類がならんでいた。

2 A (A)の前に「ここからは『米酢』の話をしていきますましよう」とあり、(A)のうしろに「水の中にお米を入れ、たいていきます。お米がたきあがったら…」と米酢を作る流れが書かれているので、イ「まず」がはいっている。

B (B)の前にお米からお酒を作る話、(B)のうしろにお酒から酢を作る話が書かれているので、ア「次に」がはいっている。  
C (C)のうしろに「果実は糖分が多いので、酵母を加えるだけで、アルコールができるからです」と理由をあらわす内容が書かれているので、エ「なぜならば」がはいっている。

3 指示語をふくむ一文を読むと「これが『酢』です。」とあるので、「なにが酢なのか」と考えて前をさがそう。「酢酸菌」がふえることで「アルコールを酢酸に変え」とあるので、ウ「酢酸」が指示語の指していることばだと見当がつく。指示語の問題では、答えだと見当をつけたことばを元の指示語のところにいれて、おかしい文にならないか確認しよう。

4 ③の次の一文を見ると、「果実は糖分が多いので、酵母を加えるだけで、アルコールができる」ので、「くだものから作るお酢」では「③を使う必要」がないとわかる。「米酢」の話の部分でデンプンを糖分に変えるために「こうじ菌」を入れると書かれているので、③には「こうじ菌」がはいるとわかる。

5 「アルコール」になにを加えれば「酢(酢酸)」に変わるのかと考えて本文をたどると、うしろから二段落目に「お酒に酢酸菌を加えます」と書かれているので、④には「酢酸菌」がはいるとわかる。

6 I 本文六行目から、大麦などを原料にして作るのは黒酢であって、穀物酢は小麦などを原料にして作るとわかるので、正しい。  
II 「酸素」のことは本文うしろから二段落目に書いてある。「酢酸菌が生きていくため」に必要なとはあるが、「お酒」に「酢酸菌を加え」てできるとは書かれていないので、正しくない。

III 本文四段落目に注目できただろうか。「米の中のデンプン」が「糖分」に変わるとあり、問題文中の「糖分」に変わるもの「II「デンプン」である」とわかるので、正しい。

③ 斉藤倫・うきまる 『ペンギンのトビオ』

1 ひこうきにのってとんでいることに対してトビオが感動しているのはなぜかと考えよう。とべないペンギンだからである。

2 「あちこち」は「いろいろの場所や方向」を指すことばである。「あれこれ」はいろいろの物事を指すことばである。

3 トビオが「どの」ともだちに会いに行こうとしているのかと考えて本文をたどると、③の八行うしろで「にんげんのほうのおじさん」が「そういえばさつききみ、ほつきよくいった?」と言っているの、ここより前の部分でトビオが「ほつきよく」についての話をしているはずだと見当がつき、③には「ほつきよく」がはいるとわかる。

4 トビオがあげた「さかな」のおかげでワニのおじさんがおちついて、それに対してトビオが「よかった」と言っているの、

5 線⑤をふくむ一文を見ると、「こんな子が、こわくてもがんばってるのに」とあるので、本文中で「ワニのおじさんの他にこわがっているが、ひこうきにのるのをがんばろうとしているのはだれか」と考えて本文をたどると、七行前の会話からトビオであると思われる。

6 「にんげんのほうのおじさん」に「もしかして、のるひこうきをまちがえてないかい?」と言われ、トビオが「ああ、やっぱり、ひとりでひこうきにのるなんて、むりだったんだ。ぼく、とべるはずなかったんだ」と思っていることから、イ「ショックをうけている」が適当である。「なみだ」は他にも「うれしい」や「感動」などプラスの気持ち、「くやしい」や「こわい」などマイナスの気持ちのどちらの場面でも使えるので、思いこみで決めてしまわず文脈で判断しよう。

7 「むねをはる」は「得意げな、自信のある様子になる」という意味である。ここでは正しいひこうきにのれていることがわかったトビオの様子なので、適当である。ア「むねをかりる」は「弱い者が強い者に相手になってもらうこと」、ウ「むねをいためる」は「心配したりもうしわけなく思ったりすること」、エ「むねをうたれる」は「強く感動させられること」である。

8 「ぼくも、すぐこわくて」とあるので、これがはいっている部分の前で他のだれかがこわがっているはずだと見当がつく。ワニのおじさんが「きみは、こわくないのかい」と言っているのに対しての返事だとわかるので、【2】が適当である。以上